

男女の排尿トラブル

【主催・企画】
岐阜大学大学院
医学系研究科
【後援】
岐阜県・岐阜県教育委員会
岐阜市・岐阜市教育委員会

毎年ご好評をいただいています岐阜大学市民講座の今年のテーマは「男女の排尿のトラブル」です。「トイレが近くなり、回数が増えた」「夜中に何度もトイレに起きてしまう」などの排尿に関する悩みは、加齢にともない誰にでも起こりうる自然な現象です。そして、女性の場合、頻尿とともに少し漏れてしまったりすることは珍しくありませんし、男性の場合、程度の差こそあれ前立腺肥大にともなって尿が出にくくなることも起こりえます。こういった加齢とともに誰にでも起こりうるけれどもなかなか相談しにくい「排尿のトラブル」を泌尿器科診療の専門家として活躍中の岐阜大学医学部附属病院の講師3名が3つのテーマ、「尿が近い(過活動膀胱)」、「尿が漏れる(尿失禁)」、「尿が出にくい(前立腺肥大症)」についてわりやすく解説します。時間の許す限り皆様の疑問・質問にお答えします。排尿のトラブルの対処の仕方に理解を深めていただけたら誠に幸いです。多数の皆様のご参加をお待ちしています。

日時 平成24年9月30日(日)

会場 岐阜大学医学部記念会館
2階ホール(岐阜市柳戸1番1)

講師・講義案内 裏面参照

受講対象者 一般社会人

定員 150名

受講料 無料



申込方法

①メールでの申込方法

件名に「岐阜大学医学市民講座受講希望」本文に氏名・電話番号を明記の上、igakubu-24smn@gifu-u.ac.jpへメールを送信下さい。後日、受講申込書(Word)及びパンフレット(PDF)を返信しますので、受講申込書に必要事項を入力の上再度送信下さい。

②郵送での申込方法

直接下記申込先へ郵送して下さい。受講申込書は、医学系研究科・医学部総務係及び本学の各学部等にあります。また、岐阜大学医学部ホームページ(<http://www.med.gifu-u.ac.jp/>)からも受講申込書をダウンロードできます。なお、受講申込書の入手が困難な場合は、氏名(ふりがな)、性別、現住所、電話番号、過去の受講歴、職業、年齢、修了証書発行希望の有無を記入したものを直接下記へ郵送下さい。なお、郵送される際は、返信用封筒(長型3号・80円切手貼付)を同封願います。

申込期間 8月1日(水)から9月21日(金)

- 申込みに関わる個人情報につきましては、講座実施のための資料として以外は使用いたしません。
- 定員になり次第、締め切らせていただきます。
- テキストは当日配布します。
- 希望者には、後日修了証書をお送りします。申込の際、必ず「修了証書発行希望」欄にチェックを入れて下さい。
- 車でお越しの方は、当日職員用駐車場を開放いたしますのでご利用ください。

申込み
問合せ

〒501-1194 岐阜市柳戸1番1
岐阜大学医学系研究科・医学部 総務係
TEL 058(230)6054(直通)

<電話受付時間>9時から16時まで(土・日・祝日・8/11~14を除く)



<講師・講義内容>

○13:30～ 開講

○13:35～14:15

医学部附属病院

泌尿器科

臨床講師 清家 健作

(せいけ けんさく)



尿が近い(過活動膀胱)

過活動膀胱とは頻尿（昼間8回または夜間3回以上の排尿）と、尿意切迫あるいは切迫性尿失禁（急に尿意を感じて漏れそうになるあるいはトイレまで我慢できずに尿が漏れてしまう）が認められる状態を言います。日本の過活動膀胱の潜在患者数は800万人以上と推計されており、40歳以上の12.4%の方が罹患しているとされています。また、高齢になるほどその罹患率は高くなります。

これら頻尿や尿失禁は直接生命予後を脅かす病態ではありませんが、その心理的・社会的な影響は大きく、生活の質（QOL）を低下させる原因になります。本講座では排尿の仕組みをご理解いただいた上で、過活動膀胱の病態と治療に関して解説したいと思います。

○14:15～14:55

医学部附属病院

泌尿器科

医員 菊地 美奈

(きくち みな)



尿が漏れる(尿失禁)

尿失禁は多くの方が悩んでいる病気です。尿失禁自体で直接命にかかわる病気ではありませんが、生活の質（QOL）を著しく低下させるものです。尿失禁は、原因によってそれぞれ対処法が異なります。受診するのもはずかしいし、ちょっと我慢すれば、となかなか泌尿器科へ受診できない人も多いと思います。

今回、泌尿器科では尿失禁の患者さんに対して、どのような検査を行うのか、それぞれの検査方法や、外来での診察の流れをご紹介します。また、尿失禁の原因、病態別に対処法を解説していきたいと思います。

○14:55～15:10

休憩

○15:10～15:50

医学部附属病院
泌尿器科

医員 菅原 崇
(すがわら たかし)



尿が出にくい(前立腺肥大症)

前立腺は男性のみに存在し、精液をつくっている臓器です。高齢化に伴い前立腺が肥大し、55歳以上の男性の2割、5人に1人に前立腺肥大の症状があることがわかっています。

前立腺肥大症の症状は「尿が出にくい」、「尿が途切れる」、「尿が近い」、「尿意を催すと我慢できない」などです。重症では、全く尿が出なくなる「尿閉」という危険な状態になることもあります。程度の軽いものは薬の内服で症状が軽快します。中程度以上のものは手術が必要になる場合もあります。

排尿に異常を感じたら、早めに泌尿器科専門医に相談しましょう。

○15:50～16:20 質疑応答・総合討議

○16:20～ 閉講